

国勢調査調査票

昭和40年10月1日

総理府統計局

国勢調査についてのお願い

この10月1日には、全国いっせいに、国勢調査が行なわれます。

国勢調査は、わが国の人口の状況をしらべて政治や行政の基礎資料をつくるために、大正9年以来5年ごとに行なわれてきた国のもっとも基本的な統計調査であります。

この調査では、皆様の世帯にふだん住んでおられるすべての人について、もれなく申告していただくことになっています。

調査員が近日中にこの調査票を集めに伺いますから、それまでに記入面の「世帯主が記入する欄」に記入しておいてください。

なお、この調査票に書かれたことからは、統計をつくるためにだけ使われるもので、その他の目的に使うことは決してありませんから、ありのままを、ご記入くださるようお願いいたします。

記入する前にお読みください

調査票には、あなたの世帯にふだん住んでいる人を
もれなく記入してください。

ふだん住んでいる人というのは、10月1日現在、あなたの世帯にすでに3か月以上住んでいるか、または3か月にわたり住むことになっている人です。

つぎの人たちは、それぞれ、つぎに述べる場所で申告することになっていますから注意してください。

- 旅行や出かせぎなどで一時不在の人は、不在期間が3か月以上にわたらないときは自宅で申告します。
- 寄宿舎・下宿などから通学している学生・生徒は、自宅でなくその寄宿舎・下宿などで申告します。
- 病院・療養所などの入院患者のうち、すでに3か月以上入院している人は入院先で申告し、入院してから3か月にわたらない人は自宅で申告します。
- 船舶に乗り組んでいる人は、自宅で申告します。
- 自衛隊の営舎内または艦船内の居住者は、自宅でなくその営舎または艦船で申告します。
- 刑務所・拘留所の収容者のうち刑のきまっている人と少年院・婦人捕縛院の収容者は、全部その収容先で申告します。
- 3か月以上にわたって住んでいるところまたは住もうと思っているところがない人は、現在いる場所で申告します。

調査票は、世帯ごとに記入してください。
つぎのような人については、とくに注意してください。

下宿または間借りしている人

- 単身で下宿または間借りしている人は、各人ごとにそれぞれ1枚の調査票に記入します。
- 家族といっしょに下宿または間借りしていれば、その家族ごとに一つの世帯として調査票に記入します。

住込みの使用人

- 住込みの家事使用人は、雇い主の世帯の調査票に記入します。
- 住込みの営業使用人は、5人以下の場合は雇い主の世帯の調査票に記入し、6人以上の場合は営業使用人だけをまとめて一つの世帯として調査票に記入します。

寄宿舎・独身寮に住んでいる人

- 会社・学校などの寄宿舎・独身寮に住んでいる寄宿舎・寮生は、まとめて調査票に記入します。

調査票に記入するときは、別にお配りした記入例を参考してください。

10月 日 に調査員が、この調査票を集めに伺いますから、それまでにかかわらず記入しておいてください。

「世帯主が記入する欄」の記入上の注意

1 氏 名

- 昭和40年10月1日午前零時までに生まれて、まだ名のついていない乳児は、「名づけず」と書いてください。

6 国 籍

- 二つ以上の国籍があるときは、その全部を書いてください。

7 仕事をしたかどうかの別

- 「仕事」というのは、収入(賃金・給料・営業収益など)をとらなう仕事のことです。家族の人が自家営業(農業や店の仕事など)に従事した場合は、無給であっても、仕事をしたこととなります。また、内職や臨時にした仕事でも、ここという仕事です。
- 1 おもに仕事……おもに勤め先や自家営業などの仕事をしていました
- 2 家事通学などのほかに仕事……おもに家事や通学などをしていて、ほかに少しでも仕事をした場合
- 3 仕事を休んでいた……勤め人や自家営業主が病気や休暇などで仕事を休みはじめてから30日にならない場合、または勤め人が30日以上休んでいても、賃金・給料をもらうことになっている場合
- 4 仕事を探していた……仕事がなく公共職業安定所に申し込むなど積極的に仕事を探していた場合
- 5 家事……少しも仕事をしないで、自分の家でおもに炊事や育児などの家事をしていた場合
- 6 通学……少しも仕事をしないで、おもに通学していた場合
- 7 その他……1から6までのどれにもあてはまらない場合

8 従業上の地位

- 「雇用されている人」とは、つぎのような人をいいます。会社員・工具・公務員・団体職員・個人商店の使用人・家事使用人・日雇い・臨時雇いなど
- 「自家業主」とは、つぎのような人をいいます。個人経営の商店主・工場主・農業主・開業医・弁護士・著述家・家政婦・行商人など

9 勤め先・業主などの名称

- 二つ以上の事務所・工場・店などで仕事をしている人は、おもに仕事をしているところの名称を一つだけ書いてください。
- 勤め先が本社や本店とは別のところにある工場や支店の場合は、その工場・支店などの名称まで書いてください。
(例) ○○株式会社○○工場 (株)○○製作所○○出張所 (有)○○商会○○営業所 (株)○○百貨店○○倉庫
- 法人の場合は、株式会社・有限会社などの別も書いてください。この場合、(株)・(有)などのように略して書いてもかまいません。
- 日雇いで仕事をしている人は、公共職業安定所をとらして仕事をした場合でも、実際に雇われている事業所(現場事務所など)の名称を書いてください。

10 勤め先・業主などの事業の種類

- おもな製品または商品の種類、製造か修理かの別、卸売か小売かの別がわかるように書いてください。

- 同じ店などで2種以上のちがった事業を営んでいる場合(たとえば洋菓子小売店が喫茶店も営んでいる場合は、おもな事業を一つだけ書いてください)。
- 官公庁で公営企業・収益事業・直営建設工事などを行なっている部局の場合は、その事業の内容がわかるように書いてください。

11 本人の仕事の種類

- 製造や修理などの技能的な仕事と販売の仕事の両方をしていいる人は、技能的な仕事のほうを書いてください。
(例) 時計の修理も販売もしている人は……時計の修理業の調剤も販売もしている薬剤師は……薬 劑 師
- 経営者で経営管理以外の仕事にも直接従事している人は、その直接従事している仕事を書いてください。
(例) 食堂の経営者で調理もしている人は……料理人 外科病院の院長で患者の診療もしている人は……外科医
- 二つ以上の種類のちがう仕事をしている人は、おもな仕事を一つだけ書いてください。

12 従業地または通学地

- つぎのような人は、それぞれつぎに示してあるところを仕事をしている場所としてください。
県配員・運転手などのように戸外で仕事をしている人は……所属している事業所のある市区町村
船の乗組員は……船籍地またはおもな根拠地のある市区町村
行商人や自家の大工などのように仕事をしている場所が一定していない人は……住んでいる市区町村

13 住居の種類

- 「持家」には、分割払いの分譲住宅などで、支払いの完了していない場合も含まれます。
- 「給与住宅」には、会社または雇い主が借りている一般の住宅にその従業員が住んでいる場合も含まれます。
- 「住宅に間借り」とは、他の世帯が住んでいる住宅(持家、借家または給与住宅)の一部を借りて住んでいる場合をいいます。ただし、その住居が(1)、(2)、(3)のすべてにあてはまる場合は、「住宅に間借り」とせず、「借家」として(1) 彼の世帯の住居と完全に仕切られていること
(2) その住居の出入口までは、共用の廊下などを通してだれでも自由に出はいること
(3) 流しや便所があること(共用でも他の世帯の住居を過らすいつでも使える場合を含む。)

14 居住室数

- 「居住室」とは、居間・茶の間・寝室・客間・応接間・食堂兼台所(ダイニング・キッチン)・書斎など居住用の室をいいます。したがって、玄関・台所(炊事場)・便所・浴室・廊下などや店・事務室など営業用に使っている室は、居住室ではありません。

15 居住室の量数の合計

- 洋間などのように畳のしていない居住室の畳数は、3.3 平方メートル(1坪)を2畳の割合で計算して畳数に含めてください。

調査員記入欄(甲)

(ア)調査区番号 (イ)世帯番号 (ウ)世帯の種類

第()号第()号第()号

1 普通世帯 2 準世帯

調査員記入欄(乙)

(エ)世帯人員 (オ)調査票通し番号

男()人 女()人 計()人

この世帯の調査票 枚のうち()枚目

この調査区の調査票 枚のうち()枚目

調査員印

世帯主が記入する欄

氏名	世帯員番号	1	2	3	4	5	6	7
あなたの世帯にふだん住んでいる人の氏名を書いてください 記入する人の範囲については 第1面の説明を読んでください								
世帯主との続柄 世帯主 妻 母 長男 長男の妻 長男の長女 家事使用人 営業使用人などと書いてください (寄宿舍・寮などでは 代表者 寄居人 寮主など)								
男女の別 男は1 女は2の数字をまるで囲んでください		1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
出生の年月		年号 年 月	年号 年 月	年号 年 月	年号 年 月	年号 年 月	年号 年 月	年号 年 月
配偶の関係 届け出の有無に関係なく あてはまるところの数字をまるで囲んでください		1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別
国籍 日本の場合は1の数字をまるで囲んでください 外国の場合は2の数字をまるで囲み 国名を書いてください		1 日本 2 外国	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国
7 仕事をしたかどうかの別 9月24日から30日までの1週間に仕事をしましたか 仕事とは 取入をとまなう仕事をいい 自家営業(農業や店の仕事など)の手伝いや内職も含みます おもに仕事をしてきた人は.....1 家事・通学などのほかに 少しでも仕事をした人は.....2 仕事を少しもしなかった人は.....3, 4, 5, 6, 7 のうち一つ		1 おもに仕事 2 家事通学などのほかに仕事 3 仕事を休んでいた 4 仕事を探していた 5 家事 6 通学 7 その他(幼児・高齢者など) 12欄に記入 8欄から12欄まで記入	1 おもに仕事 2 家事通学などのほかに仕事 3 仕事を休んでいた 4 仕事を探していた 5 家事 6 通学 7 その他(幼児・高齢者など) 12欄に記入 8欄から12欄まで記入	1 おもに仕事 2 家事通学などのほかに仕事 3 仕事を休んでいた 4 仕事を探していた 5 家事 6 通学 7 その他(幼児・高齢者など) 12欄に記入 8欄から12欄まで記入	1 おもに仕事 2 家事通学などのほかに仕事 3 仕事を休んでいた 4 仕事を探していた 5 家事 6 通学 7 その他(幼児・高齢者など) 12欄に記入 8欄から12欄まで記入	1 おもに仕事 2 家事通学などのほかに仕事 3 仕事を休んでいた 4 仕事を探していた 5 家事 6 通学 7 その他(幼児・高齢者など) 12欄に記入 8欄から12欄まで記入	1 おもに仕事 2 家事通学などのほかに仕事 3 仕事を休んでいた 4 仕事を探していた 5 家事 6 通学 7 その他(幼児・高齢者など) 12欄に記入 8欄から12欄まで記入	1 おもに仕事 2 家事通学などのほかに仕事 3 仕事を休んでいた 4 仕事を探していた 5 家事 6 通学 7 その他(幼児・高齢者など) 12欄に記入 8欄から12欄まで記入
8 従業上の地位 会社・団体・個人や官公庁に雇用されている人は.....1 会社・団体・公社の重役や理事などの役員は.....2 自営業主(農業主や個人経営の商店主など)は.....3 自家営業(農業や店の仕事など)を手伝っている家族は.....4 自宅賃貸仕事(内職)をしている人は.....5		1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 自営業主 4 自家営業の手伝い 5 内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 自営業主 4 自家営業の手伝い 5 内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 自営業主 4 自家営業の手伝い 5 内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 自営業主 4 自家営業の手伝い 5 内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 自営業主 4 自家営業の手伝い 5 内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 自営業主 4 自家営業の手伝い 5 内職	1 雇用されている人 2 会社などの役員 3 自営業主 4 自家営業の手伝い 5 内職
9 勤め先・業主などの名称 仕事をしている事務所・工場・店などの名称を書いてください 株式会社・有限会社などの別も書いてください (記入例を見てください)								
10 勤め先・業主などの事業の種類 仕事をしている事務所・工場・店などの事業の内容をくわしく書いてください (記入例を見てください)								
11 本人の仕事の種類 本人がしている仕事の内容がよくわかるように、たとえば電気溶接工・会計事務員などと書いてください 工具・会社員などと書かないでください (記入例を見てください)								
12 従業地または通学地 仕事をしている場所または通学している学校の所在地を書いてください その場所が住んでいる市区町村内にある場合は 当市、当区、当町または書いてください 仕事も通学もしている人は仕事をしている場所を書いてください		都道府県 市 区 都庁 支庁 町村	都道府県 市 区 都庁 支庁 町村	都道府県 市 区 都庁 支庁 町村	都道府県 市 区 都庁 支庁 町村	都道府県 市 区 都庁 支庁 町村	都道府県 市 区 都庁 支庁 町村	都道府県 市 区 都庁 支庁 町村

13 住居の種類
あてはまるところの数字をまるで囲んでください

1 持家 (賃貸を含む)
2 借家 (賃貸を含む)
3 給与住宅 (住宅・公営)
4 住宅に寄居
5 寄居
6 その他(下宿屋)

14欄と15欄に記入

14 居住室数
玄関・炊事場・浴室などや営業用の室、他の世帯の使っている室は除いてください

15 居住室の量数の合計
応接間・居間などで使われていない居住室も量数に換算して含めてください (1畳未満も記入)

世帯の所在地 (ところ番地)

世帯主の氏名 (または代表者の氏名)

印

(調査票が2枚以上にあたる場合は それぞれに記入し押印してください)

統計局記入欄

A世帯構成 B家族構成 C経済構成